

広島大学 起業家教育の取組

2021.9.1

広島大学・産学連携推進部
スタートアップ推進部門 准教授
牧野 恵美

自己紹介

牧野 恵美

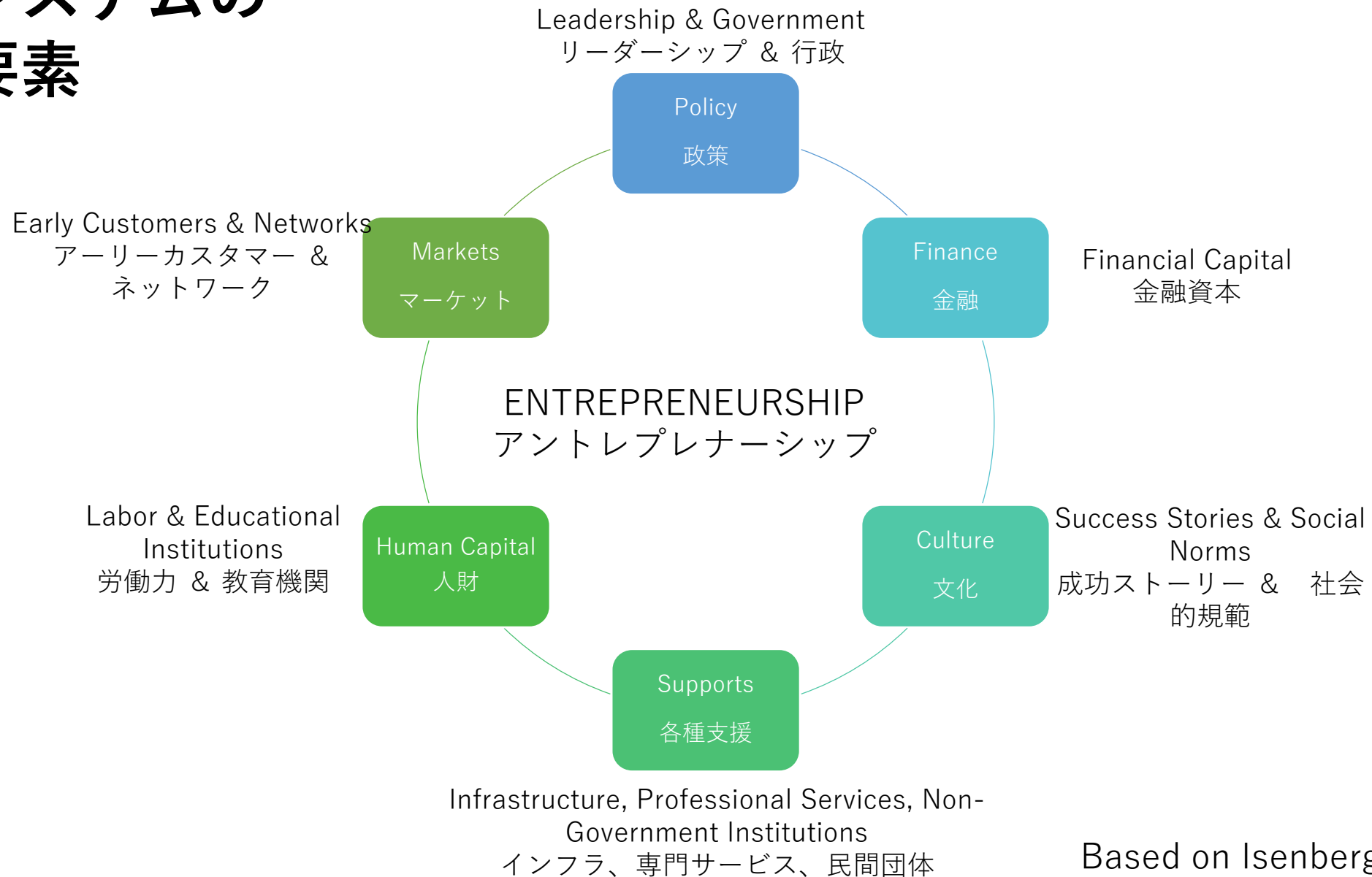


広島大学 産学連携推進部 **スタートアップ推進部門・准教授。**

日本経済新聞・米州総局の記者としてベンチャー企業と起業家を数多く取材。日系企業の米国現地法人で新規事業開発を経て、日経BP社発行の日経E-BIZの企画・編集などに携わる。子育てとの両立のため日英同時通訳者に転身後、クレアモント大学院大学にてMBA、PhD（経営学）。2013年より九州大学、東京理科大学にて主に起業家教育を担当。2019年より現職。

Academy of Management, United States Association for Small Business and Entrepreneurship (USASBE), 日本ベンチャー学会（理事）各会員

エコシステムの 構成要素



Based on Isenberg, 2011

広島県の現状と課題

- **ぜい弱なアントレプレナー教育とビジネス教育基盤**
 - 全学で体系的に教育している大学が少ない（事実上、広大のみ）
 - 事業化に直結する実践的な教育プログラムがほとんどない（広島県が中心）
 - ビジネススクールが弱い（事実上、県立広島のみ）
- **スタートアップ推進の環境が未整備**
 - 民間のアクセラレーション、インキュベーションプログラムが発展途上
 - プロトタイプ制作のメーカースペースやファブラボがない
 - シーズ提供できるリサーチ大学がほぼ広島大学のみ
 - メンターや経営者となる経営人財、起業家が少ない
 - ギャップファンド、プロジェクトファンドがない
- **アントレ教育への理解不足**
 - アントレ教育の必要性が大学内外で認められていない
 - 保護者から強い反発も

お金がない！

リスクキャピタルも教育予算も獲得できず
下手すると負のスパイラルに落ちかねない

- 広島大学は2018年以降、起業家教育の外部資金が途絶えた（現在、EDGE-NEXTの協力校のため予算的な措置はない）
- 広島県はスタートアップエコシステム拠点推進都市に採択されたものの、予算がつかなかった（SCORE環境整備も唯一不採択）
- 技術シーズを前提としたイノベーション型スタートアップに対する助成を獲得するには、ますます相対的に不利になる

最優先課題

アーリーステージの
活動量を増やすこと

広大起業家教育の系譜

VBL誕生

- 大学発ベンチャーの創出が目的のベンチャー・ビジネスラボラトリー（VBL）を設立

初期のアントレ教育

- 技術経営（MOT）やビジネス教育を中心とした科目の開設
- 「国際夏の学校」というグローバル教育

起業家教育を本格化

- 2014~2017年 文科省のEDGE事業に採択され、授業やプログラム等を企画・実施
- 2018年のEDGE-NEXTは協力機関のため、財源が途切れる

エコシステム形成へ

- 大学財源で教員ポスト+テクニカルスタッフ（事務系）
- 学部と大学院の教養科目、選択科目を整備
- 産学・自治体との連携を強化

提供科目とプログラム例

- **アントレ系（マインド）**
 - ・アントレプレナーシップ（学部）
 - ・アントレプレナーシップ概論（修士）
 - ・事業創造概論（日英・博士）
- **経営系（ビジネス基礎）**
 - ・ビジネスクリエーション（日英・学部）
 - ・経営とアントレプレナーシップ（先進理工・日英・博士）
 - ・MOT入門（日英・修士）
 - ・MOTベンチャービジネス論（先進理工専門・修士）
 - ・技術移転論（先進理工専門・修士）
 - ・技術応用マネジメント概論（先進理工専門・博士）
 - ・知的財産及び財務・会計論（日英・先進理工専門・修士）
 - ・技術戦略論（日英・先進理工専門・修士）【応用】
- **実践～起業系**
 - ・事業創造演習（先進理工・修士）
 - ・バイオデザインI/II（医療・修士と社会人）
 - ・フィールドワークの技法（修士）
 - ・国際夏の学校（英・単位なし・全学・国内外5大学連携）
- **実践～経営系**
 - ・テクノロジー・マーケティング（英・学部単位あり・修士以上は単位なし）←九大と共同開講
 - ・地域おこし実習（日英・学部・東広島市と共同実施）
 - ・ひろしまアントレプレナーシッププログラム（日英・単位なし・全学共通）
 - ・イノベーション演習（日英・博士・HIRAKUから始まった科目）
 - ・アイデア・マイニング（英・理系博士優先・ILDプログラム提供）
 - ・ソーシャル・イノベーション・スクール（単位なし・社会人・学生奨学生・外部プログラム・広島県助成）
 - ・Shinonomeプレイグラウンド（単位なし・全学共通・外部プログラム・東広島市助成）

教育の特徴と課題

- 長所

- 基礎から実践まで一通り網羅できており、ある程度、体系化されている)
- 英語科目やプログラムが比較的豊富で、留学生が受講しやすい
- 社会課題を発見し、解決するプログラムが充実
- 自治体、地域のステークホルダーとの連携科目やプログラムが強い
- 複数の文科省事業でアントレ教育を組み込んでいる

- 課題

- 受講する学生が少ない
- 学部生と院生が一緒に学べる共通科目が提供できない
- 理系学生に偏っている
- 実践系科目は用意されているが、「教育のための実践」であり「実践のための教育」がない
- 学生プロジェクトを支援するしくみや制度が不十分

大学を中心としたエコシステム
主役は**学生**！
(教員だけではない)

主要なエコシステムの大学発ベンチャー
の7割が、学生主体のベンチャー